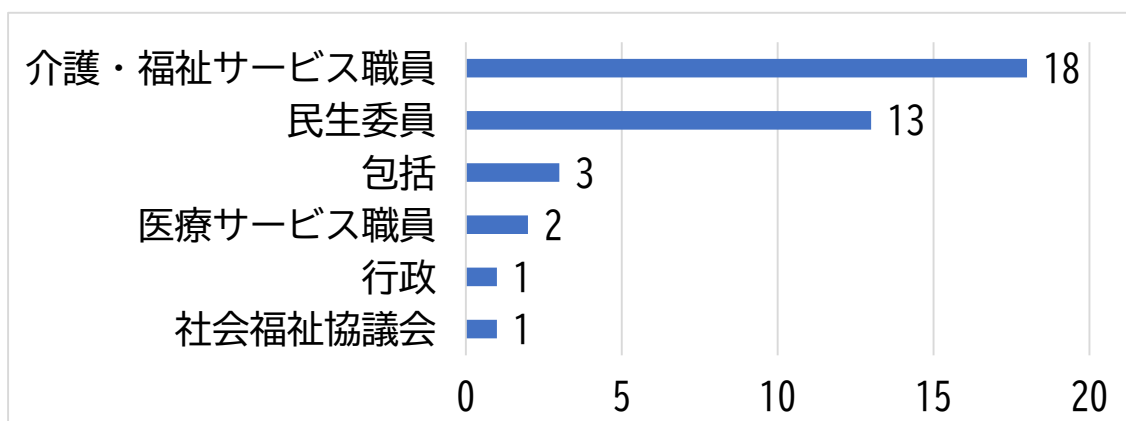
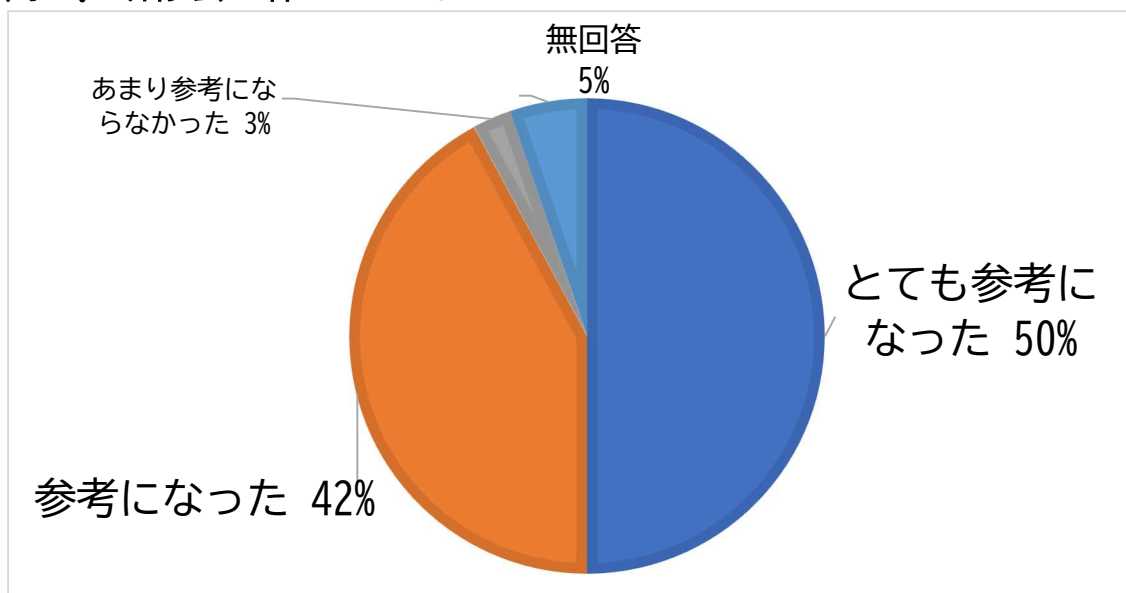


# 令和2年度 認知症研修会 アンケート集計結果

## 問1. 所属について



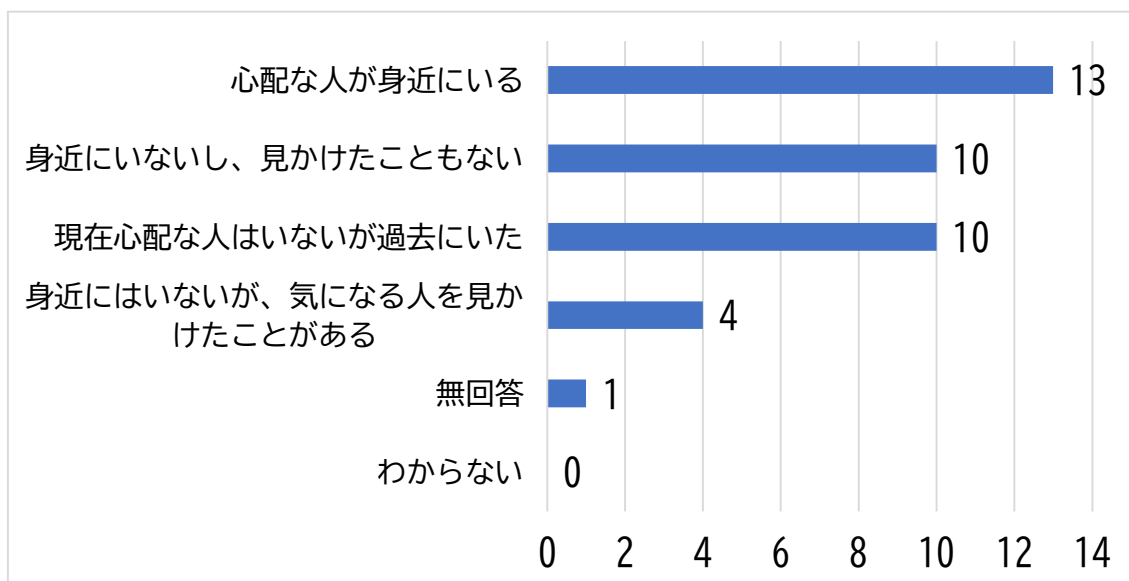
## 問2. 研修会全体について



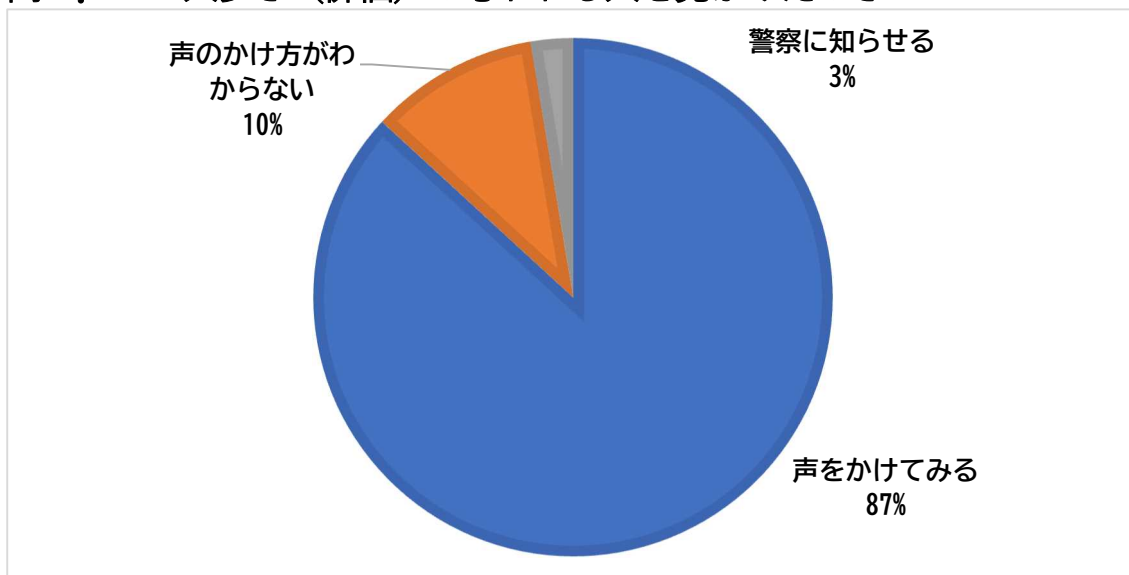
### 理由（自由記載）※一部抜粋

- ・永田先生の講義はとても参考になった。(3)
- ・コロナウイルス感染症の自粛に伴い色々な研修が中止となっていた中で、東京の永田先生の講義をリモートで参加でき、この状況の中でもできることを頑張っていきたいという気持ちになった。
- ・他人事でなくお互いがより良い暮らしができるよう、さり気ない見守りを行きたいと思った。
- ・グループワークの時間をもう少し長くってほしかった。
- ・地域全体で見守り体制ができている事例は参考になった。

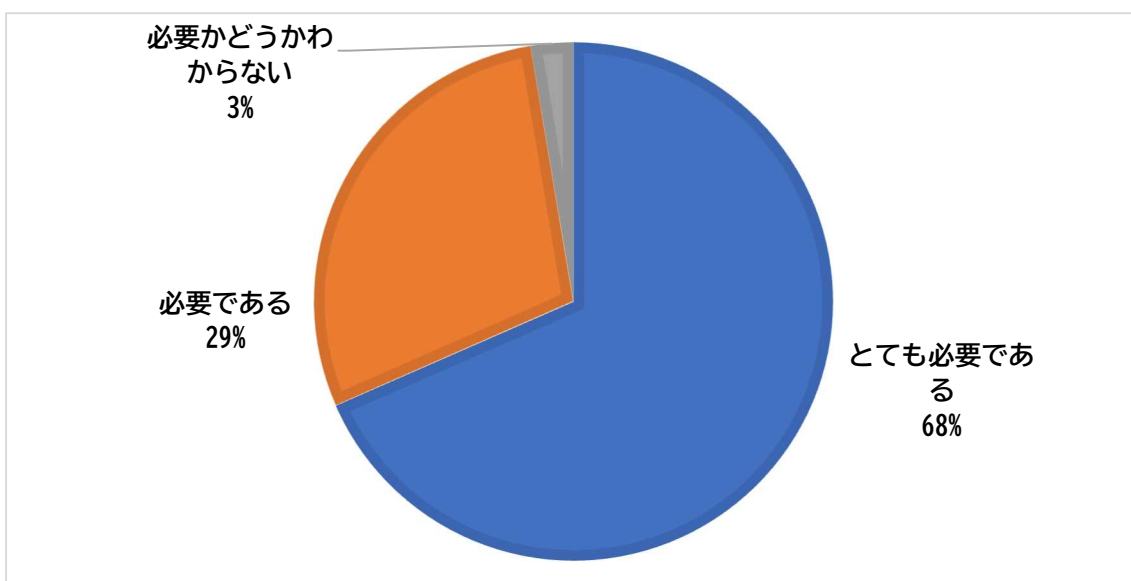
### 問3. 認知症の方の行方不明について



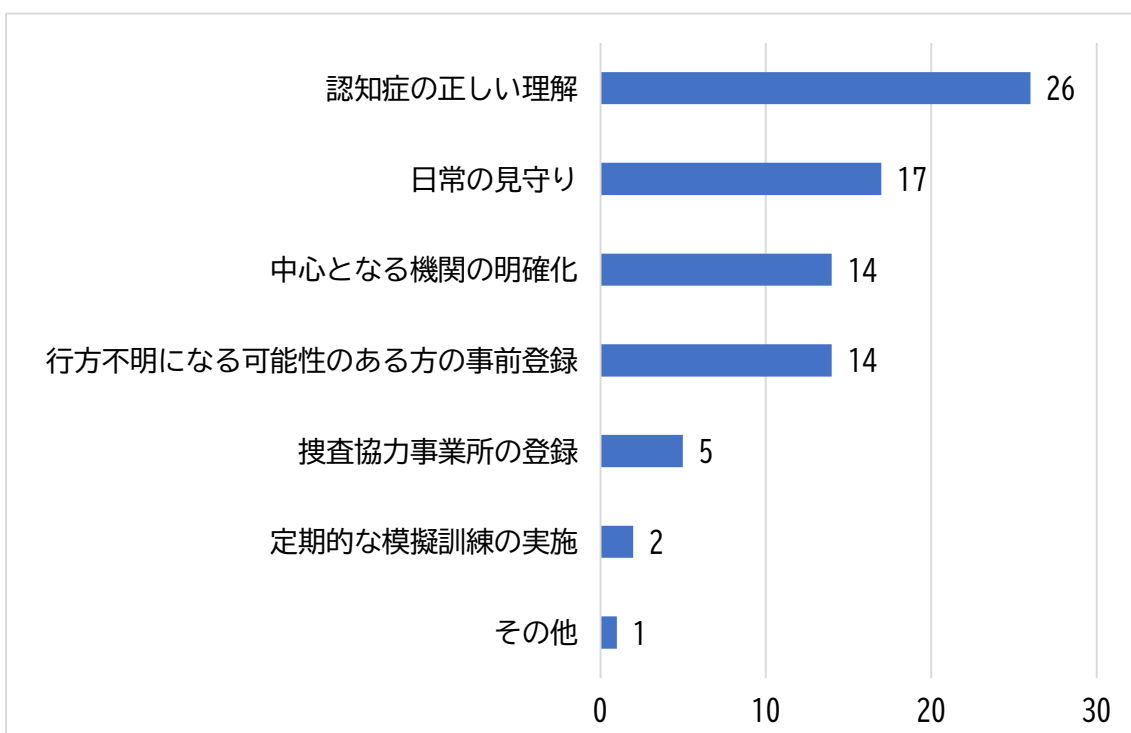
### 問4. 一人歩き（徘徊）と思われる人を見かけたとき



問5. 高齢者見守り・SOS ネットワークの必要性について



問6. 高齢者見守り・SOS ネットワークで大切なことは  
(2つまで回答可)



## ※今後の本市における高齢者の見守り・SOS ネットワークに関するご意見・ご要望等（自由記載）

- ・本人、家族だけで頑張れる時代ではなくなっていることを日々痛感している。誰もがSOSを発信でき、本人も家族も安心して暮らせる見守りネットワークの確立が早急に求められる。
- ・認知症家族を持つ一人の家族として今日の研修は心が少し軽くなった。
- ・普段から身近な人が見守ったり声をかけたり援助できたりできる様、子ども達や地域住民一人一人の共生への意識を高める研修、地域ごとの集いなどの活動がもっと充実すると良いと思った。
- ・防災組織の取り組みのひとつとすることが必要と思った。
- ・1人歩きした人を見かけたときに包括へ連絡できるよう包括のアピールが必要。
- ・講演会をもとにして地域で取り組みをひろげたい。
- ・認知症についての理解、かかわり方についての勉強会が必要。
- ・現在我が地区では一人暮らしネットワークを作り見守りをしているが高齢者が多く高齢者が高齢者を見守りしている状態。専門職等も見守りするような体制を作って欲しい。
- ・ネットワーク作りが有れば参加したい。
- ・色々な年代の人が集まり、つながる場がたくさんできると良いと感じた。
- ・相談窓口の明確化。
- ・高齢者の見守り協定をしている事業所関係者や市役所、包括、介護サービス事業所、民生委員、地域住民代表などによる合同勉強会が必要。
- ・日常の見守りの大切さを学びました。高齢者見守り協定も含め定期的な集まりが必要。
- ・見守りが必要な方が誰にもわかるものを身につけてくれていると声かけをしたり見守りしやすいと思う。
- ・地域の方に積極的に声がけができる自分でいられる努力をしたい。
- ・初めての参加で、市の現状はよくわかりませんが、こういう研修は必要であると思った。